



第10回大衆運動活動家 合祀追悼会を催行する



追悼を終え顕彰碑を囲む参加者

石川労福協、連合石川等で構成する石川県大衆運動活動家顕彰会実行委員会は、11月23日(勤労感謝の日)に金沢市内卯辰山の顕彰碑前において、政治、労働、文化のそれぞれの分野において平和、民主主義の発展、教育福祉環境等の向上に尽力し故人となられた6名の方を合祀し追悼した。

当日は、愚図ついた空模様の寒々しい中、実行委員や遺族ら関係者30名が参列し、始めに上田弘志連合石川会長(石川労福協理事長)が「本年合祀される6名の故人が、生前、それぞれに取り組みられた大衆運動の功績をたたえる。」と挨拶し、続いて、宮下亮石川労福協専務理事が顕彰会の設立趣意書を朗読した後、6名の名前を記した顕彰プレートが顕彰碑の中に納められ、参列者全員が献花した。

そのあと催された感謝の集いでは、故人の在りし日の姿が関係者から披露され、当時を偲びつつ故人の冥福を祈った。

合祀された方の名前・主な経歴

- 東 昭雄さん(享年 78 歳)
全農林北陸地本委員長、石川県評議長
- 櫻井 清豊さん(享年 50 歳)
全たばこ金沢支部財政部長
- 藤 誠義さん(享年 81 歳)
津田駒工業労組書記長、石川県退職者協会会長
- 村池 久一さん(享年 84 歳)
金沢市議会議員
- 中村 外雄さん(享年 85 歳)
北陸鉄道労組委員長、石川県労働金庫理事長
- 清水 保治さん(享年 86 歳)
石川県議会議員、石川県勤労者体育協会会長

第8回ライフ・サポートセンター事務担当者研修会

12月2日(木) ANA クラウンプラザホテル金沢において、各地域ライフ・サポートセンターの事務担当者等14名が参加して第8回ライフ・サポートセンター事務担当者研修会が開催された。

午前中は、連合石川の地協再編により事務を担当することとなった5名の新たなメンバーを迎えて進められ、ライフ・サポートセンターの経理処理の研修が行われた。

後半は、①労済部会活動として取り組む保障紹介活動における事務手続き②収支計算書の一部変更に関する研修等が行われた。また、本年度で終了する子育て支援「緊急サポート事業」については、12月末をもって新規会員募集を終了することや、現状の報告と今後の予定について説明された。また、石川県勤労者文化協会が実施する展示会への協力要請がされた。

説明の都度、質問が寄せられるなど、緊張感がつづくなか研修会を終えた。



寺西修次郎公認会計の講義を受ける担当者

親子でクリスマスケーキ作り

12月12日(日)午前10時より河北地域ライフ・サポートセンターの緊急サポートネットワーク部会は、かほく市七窪公民館において、クリスマスケーキ作りを開催した。

毎年恒例となったこの行事は今回で4回目となり、緊急サポートの利用会員、サポート会員と子どもを含め21家族45名の参加となった。

主催者を代表して吉川武久河北地域LSC副会長が開会の挨拶をし、続いて、才田巖石川労福協副理事長から緊急サポート事業の現況と来年3月の事業終了にともなうファミリーサポートセンターへの移行への報告があった。

ケーキ作りは、青木クッキングスクールの加藤先生を講師に、まず、ケーキの生地づくり、生クリーム作り、そしてデコレーションのレシピのお話があったのち、早速、お母さんたちは子どもたちと一緒にケーキ作りに奮闘した。

お昼頃には全員素敵なケーキができあがり、一足早いクリスマスとなった。

河北地域LSC 吉田雅子



ケーキ作り「おいしくな〜れ」

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	(12月10日現在) 会 場
12月10日	金	食みどり水ネット「第42回全国集会」(～11日)	東京都「日本教育会館」
11日	土	七尾・鹿島地域LSC 退職前セミナー	七尾・鹿島労働会館
12日	日	緊サポ会員交流会かほくセンタークリスマスケーキ作り 石川県勤労者互助会 会員交流映画鑑賞会	かほく市七窪公民館 ユナイテッドシネマ金沢
15日	水	食とみどり、水を守るいしかわネットワーク第5回総会	労済会館
18日	土	白山・野々市地域LSC 文化教室 寄せ植え	松任労働会館
20日	月	石川労福協第5回理事会	フレンドパーク石川
28日	火	会館互助会総会	〃
1月5日	水	労福協・連合石川新春の集い	金沢都ホテル
7日	金	連合かなざわ地協、金沢LSC合同「新春の集い」	労済会館
12日	水	アジア・アフリカ支援米発送式	金沢市役所前広場
13日	木	労金金沢西支店感謝の集い	金沢スカイホテル
14日	金	地方消費者グループ・フォーラム	労済会館
27日	木	中部労福協第4回幹事会(～28日)	和歌山県

※フレンドパーク石川は、12月29日(水)～1月3日(月)まで休館いたします。

無料職業紹介所(厚生労働大臣許可番号17-4-30006)
ジョブいしかわ
 ☎076-234-3945

第 42 次欧州労働者福祉視察団に参加して

北陸労働金庫本店営業部次長 奥村賢志

石川労福協の代表として、9月6日(月)～16日(木)の11日間スペイン・ドイツ・ポーランドを視察した。

9月6日(月)成田空港から、フランクフルト経由でスペインに向けて出発した。



奥村賢志さん

スペイン(ビルバオ)

7日(火)午前からモンドラゴン視察

モンドラゴン労働者協同組合は世界最大の労働者協同組合であり、日本からの視察が多いので日本語版の説明DVDが用意されていた。

モンドラゴンを軸とする地域企業複合団体に256団体あり、協同組合、子会社、大学、労働人民金庫(労働金庫)も含まれている。労働人民金庫は、協同組合のネットワークの中軸に据えたことが発展の基礎となった。生産では自動車部品に始まり電化製品、コンピュータソフト(敷地内にマイクロソフト)開発、スーパーマーケット、家畜からの牛乳、バターなど幅広い分野となっている。

モンドラゴンは労働者と利用者による運営がなされているのが特徴で、経験の蓄積を活かし世界に



モンドラゴンが経営する「エロスキー」スーパーマーケット

も広げている。社会保障も充実しており病気休職、失業給付、医療保険給付などがあり安心して働ける仕組みが作られている。

ドイツ(フライブルグ市)

9日(木)～10日(金)フライブルグ市は、人口22万人でドイツの中でも住みたい町の上位にランクされている。その理由として様々な街づくり政策が人気となり人口増加に貢献していることにある。そのうち、環境政策については

コーディネーターの案内で路面電車、バスを利用しながら周ることから始まった。

『森の家』訪問

市街地からバスで15分ほど走った森の入口付近に建っている。森の家の目的は酸性雨による森林被害から森を守ることを

訴え、対策、木々廃材のリサイクル、環境教育も行っている団体である。



森の家での視察模様

町から「森の家」の存在も認められ2003年から小学校の授業の一環として生徒を受け入れている。子供の頃から環境に対する意識の違いを感じた。

『フライブルグ市環境局』を訪問

旧市街地に車の乗り入れを行わない街づくり(システム)

交通システム政策

- ・公共機関の促進 — 家族共通の使える定期券(バス・電車利用可)
- ・自転車の促進 — 自転車道路400km整備
- ・駐車場の管理 — 中心街手前の駐車場確保(パーク&ライド)

市電、バスはラッシュ時2分間隔での運行を



フライブルグ市環境局にて

しており利便性、時間短縮に貢献している。将来的には市電の線路延長、高速化を目指している。

州の考え方は、自動車ディーラーの評価を落とすのが狙いでなく、自動車の役割(旅行・運搬)を保ちながら町中心部での公害の原因、車依存症を減らすことが交通システムの目的である。

エネルギー政策

新設住宅、サッカー場等にソーラーパネルを設置し電力会社へ電気を売る仕組みをつくり、



冬は非常に寒い地域なので省エネに関する規制も厳しく断熱工法やヒーティングまでが義務付けられている。ガラスは二重サッシで厚みもあり、断熱材も北陸の3倍の厚さがあるため殆どヒーターなしでも過ごせる暖かさがある。

フライブルク市は交通システムも機能し利便性もあり、省エネ事業ではゴミの腐敗ガスを利用したの暖房事業、雨水を地下に溜めての再利用、水力発電等もあり、あらゆる政策の実現化をしている。環境面では空気、水もきれいで、町にはゴミひとつ落ちていないため清潔感があり、全ての住民が環境意識を持って住みよい街づくりがされた理想の町であった。

11日(土)は移動日となり、ドイツで1番人気のロマンチック街道を走り、途中、私が一番楽しみにしていたノイシュヴァンシュタイン城の見学が予定されていた。シンデレラ城(ディズニースタイン)のモデルとなったとも言われるだけあり、バランスの取れた美しい外観と城の中も豪華で莫大な財産が注ぎ込まれた様子が窺えた。ドイツの建造物は素晴らしく歴史の重みを感じ再度訪問したい国となった。楽しみがあったこともありミュンヘンまでの400kmのバス移動も苦にはならなかった。



森に建つノイシュヴァンシュタイン城

ポーランド(ワルシャワ市)

13日(月)～14日(火)『フードバンク・関連

団体』視察

この視察の事前研修で、日本で活動しているセカンドハーベストジャパンより活動報告を受けており、現地での説明はよく理解できた。フードバンクの理念は「食料品を無駄にしない」ことから始まり、各販売業者のパッケージ破損、生産過剰品、賞味期限が間近等の理由で店頭販売出来ない商品を企業から提供を受けている。企業は、廃棄費用を支払っていたが、商品提供することで廃棄費用が不用となり社会貢献(CRS)もできる。また、法律の改正にも繋がり食品寄付にかかる付加価値税(従前21%)が免除されることから、多くの企業の協力を得て発展してきた。

ポーランド国内でのフードバンクは30ヶ所あり、貯蓄倉庫も備えている。孤児、ホームレス、老人ホーム等で、食糧を必要としている所に食品を再調理して届けているボラン



フードバンクでレクチャーを受ける奥村団員ら



フードバンクの倉庫にて

ティア団体である。今後は活動を広げるためにメーカーと交渉し食品確保、新しい企業を紹介してもらうなどの活動を行っていた。

最後に欧州3ヶ国の視察を終えて片道11時間のフライトは疲れましたが、ヨーロッパの素晴らしい風景や文化に触れられたこと、また、視察の中では日本にはみられない活動、制度を知ることができ、またフードバンクではボランティアに多くの人々が関わっていることを知り、人の繋がりの大切さを痛感しました。今回の欧州視察に参加の機会を与えていただいたことに感謝し、今後、この貴重な経験を活かせればと思います。ありがとうございました。

全国クレサラ・ヤミ金被害者交流集会



第30回全国クレサラ・ヤミ金被害者交流集会が、11月27日(土)～28日(日)の日程で岐阜市長良川国際会議場をメイン会場に、全国から弁護士・司法書士・被害者団体・岐阜市・地元労働福祉団体などのほか、韓国・中国・台湾からも弁護士や被害者を救済する団体らも合わせて1,600余名が参加して、まさにグローバルな大集会が開催された。

冒頭、鷲見実行委員長が「だれもが希望を持てる社会へ“多重債務・貧困・自殺をなくそう”」と開会挨拶した後、岐阜県副知事・岐阜弁護士会長・司法書士会長などの歓迎挨拶がなされた。



宇都宮健児日弁連会長

続いて、宇都宮健児日本弁護士連合会会長が「生きがい、希望を持てる社会へ～貧困、自殺、多重債務問題とわが弁護士人生～」と題し記念講演会をした。

講演では、「わが国では、貧困の深刻化がとまらない状況にある。2009年に発表された相対的貧困率は15.7%であり、OECD加盟国30カ国の中で4番目に高い数字だ。収入格差は拡がり2008年では3分の1の世帯が300万円以下で暮らし、働く貧困層(ワーキングプア)が急増している。生活保護世帯は130万余世帯で受給者は181万余人と増加している。また自殺者も12年連続で3万人を越え、経済的な理由での自殺は4分の1に達している。多重債務が解決されてもこれらの問題が解決しなければ希望の光は見えてこない。この集会において、解決



第4分科会での模様

にむけて第1歩を踏み出そう」と訴えた。

分科会は、メイン会場など20に分れて開催され、私は「第4分科会～クレサラ相談に活かせる生活保護の基礎知識～」に参加した。分科会は、「歩く生活保護手帳」と言われる人らがパネラーとなり、基礎知識や原理・原則などを受講した。現在の一般的通念から乖離した基本的事項があり、自分自身の認識や地域の取扱い状況に発奮する思いで受講した。

2日目は湯浅誠氏や福島みずほ氏らがパネラーとなり、「貧困・自殺・多重債務をなくす為 今為すこと」のパネルディスカッションの後、各分科会報告や集会宣言が採択され、閉会した。

県 LSC 事務局次長 谷内英明

お子様の夢をお手伝いします!

創立10周年記念

(無担保) **教育ローンキャンペーン実施中**

2011年7月31日まで

キャンペーン最優遇金利

変動 **1.9%** ～ 年2.6%

キャンペーン基準金利

- ◆ご融資額 最高1,000万円
- ◆ご返済期間 最長15年(据置期間含む)
- ◆ご返済方法 毎月返済または、毎月返済・ボーナス返済の併用
- ※保証料0.5%が別途必要です。
- ※2010年12月1日現在適用中。
- ※審査の結果ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

詳しくは、最寄りの(ろうきん)までお問い合わせください。

「親子でふれあい おたのしみ映画会」開催

金沢地域ライフ・サポートセンターは、11月20日(土)石川県立音楽堂邦楽ホールにおいて、全労済50周年記念事業の「親子でふれあい おたのしみ映画会」を開催した。

上映した映画は、今夏公開の幅広い世代に人気がある「トイストーリー3」で、上映1時間前の受付開始前にも係わらず来られる家族連れも



あるほどで、総勢 609 名の参加となった。

上映終了後のお楽しみ抽選会は、主催者を代表して綿征一金沢地域ライフ・サポートセンター会長の挨拶と全労済石川県本部を代表して本田和雄本部長が「全労済石川(石川共済)50周年の感謝の表明と、保障点検活動の紹介、今後のさらなる共済利用を呼びかける」お願いのあと行われ、映画キャラクターフィギア、ニンテンドーDSiなどの豪華賞品に会場が大いに盛り上がった。

また、会場入口に設置した保障相談コーナーでは、限られた相談時間のなかで熱心に相談する家族連れもみられ、保障への関心が高い世代であることを改めて認識し、今後もライフ・サポートセンターと全労済の連携による子育て世代への共済利用の推進を強化する必要性を感じた1日であった。

金沢地域LSC事務局次長 杉安晋一

勤 体 協

- 第9回輪島市長杯勤労者バスケットボールオープン大会
(11月28日・同市一本松総合運動公園体育館、同市総合体育館)
- ◆ 一般▽1位 T R O T T E R S、2位 カメレオン☆
 - ◆ 3位 K A H O K U P A P A、クリボー
 - ◆ 最優秀選手 坂下陽一朗
 - ◆ 混合▽1位 ルーザーズ、2位 R e p l i c a、3位 レインボーイーグルス
 - ◆ 最優秀選手 井上美沙樹

加賀地域LSCの新メンバー紹介

連合石川の白山・野々市、小松・能美、加賀の3地域協議会が去る10月23日に統合して「かが地域協議会」が発足したことに伴い、これまで勤務された角谷代志子さんは、かが地協に異動され、後任に加賀地区労働会館職員の角谷悠さんを11月1日から加賀地域LSC事務局に迎えました。



角谷悠さん

今後とも、新しい仲間とともにライフ・サポートセンター活動へのご理解とご協力をお願いし、ご紹介します。

子育て支援
いしかわ緊急サポートネットワーク

会員登録状況 / サポート状況 2010年11月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	14	134
わじま	2	12	0
ななお	8	4	0
はくい	5	6	6
かほく	19	70	14
かなざわ	164	533	864
はくさん	38	90	30
こまつ・のみ	21	42	16
計	263	771	1,064

ZENROSAINNEWS
入院と手術に絞った
シンプル保障で一生涯の安心を。
こくみん共済の医療保障が、
より充実しました。

家族一人ひとりに、一生つづく大きな安心を。

こくみん共済

保障のことなら 全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

